

## 第 44 回 原子力関連学協会規格類協議会 議事録

1. 日時 平成28年3月8日（火）10:00～11:10

2. 場所 一般社団法人 日本電気協会 4階C,D会議室

3. 出席者（敬称略，順不同）

出席委員：金子議長(日本機械学会 発電用設備規格委員会 委員長)，越塚(日本電気協会 原子力規格委員会 委員長)，波木井(日本機械学会 発電用設備規格委員会 副委員長)，宮口(日本機械学会 発電用設備規格委員会 幹事)，阿部(日本電気協会 原子力規格委員会 幹事)，永田(日本機械学会 発電用設備規格委員会 原子力専門委員会 委員長)

代理出席：宮野(日本原子力学会標準委員会フェロー，関村代理)

常時参加者：杉山(原子力規制庁)，伊藤(原子力安全推進協会)，谷口(日本建築学会 原子力建築運営委員会，北山代理)

オブザーバ：石出(日本溶接協会)，中沢(火力原子力発電技術協会，船橋代理)，齊藤(電事連)，松澤(日本電機工業会)，村井(日本電機工業会)，河井(日本原子力学会)，高橋(日本原子力学会)，西村(日本原子力学会)

日本機械学会 発電用設備規格委員会 事務局 高柳

日本原子力学会 標準委員会 事務局 中越

日本電気協会 原子力規格委員会 事務局 沖，美馬，田村，大村

(24名)

4. 配付資料

資料 No.44-1 第 43 回 原子力関連学協会規格類協議会 議事録（案）

資料 No.44-2 津波に関するワーキンググループの設置について（案）

資料 No.44-3 日本機械学会 金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止に関する追加御質問への回答の提示

資料 No.44-4 維持規格の原子力規制庁技術評価の状況

資料 No.44-5 第 3 回 日本電気協会 原子力規格委員会シンポジウム（案）

資料 No.44-6 講習会開催案内（日本原子力学会）

資料 No.44-7 原子力関連学協会規格類協議会幹事会 議事概要(案)

参考資料-1 原子力関連学協会規格類協議会 名簿

参考資料-2 原子力関連学協会規格類協議会 運営要綱

参考資料-3 日本機械学会 発電用設備規格委員会 制定規格

参考資料-4 一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 標準の策定と技術評価に関する状況

参考資料-5 日本電気協会 原子力規格委員会 策定規格

## 5. 報告事項

### (1) 代理出席者及びオブザーバ出席者の紹介

事務局より代理出席者及びオブザーバ出席者の紹介があった。

### (2) 前回議事録確認

事務局より資料 No.44-1 に基づき、前回議事録(案)について紹介があり、承認された。

### (3) 報告事項

#### 1) 津波に関するワーキンググループの設置について

事務局より資料 No.44-2 に基づき、津波に関するワーキンググループの設置について説明があった。検討の結果、地震工学会の方を追加して、4月に第1回WGを開催することとなった。

(主な質疑・コメント)

・地震工学会の方に入っていただくよう、連絡されたい。

→拝承。

・本件を電気協会の耐震設計分科会に説明したところ、検討の内容として、津波について前側(設計津波)か後ろ側(詳細な設計)かとの質問があった。

→検討対象も含めてWGで検討いただければ良い。

・規制側の方をどのように参加いただくのか。

→規格類協議会に出させていただいてご意見を伺えば良いのではないかと。

・第1回目は、事務局からメンバーへ連絡する。

#### 2) 各学協会からの報告

各学協会から、以下のとおり、活動状況の報告があった。

##### i) 日本機械学会

##### a) 金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止について

日本機械学会より資料 No.44-3 に基づき、金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止について報告があった。

(主な質疑・コメント)

・教訓として反映していかなければならない事例であり、電気協会原子力規格委員会でこの件を紹介した。根本的には規格の作成者の意識の問題が大きいが、規格の品質、誤記、少数意見の扱いについては、電気協会も同様の認識を持っており、改善について、それぞれ考えていきたい。3学協会の場で、共通的な対応していけば良いかと考える。

→3学協会の共通テーマとして、作業会の場で検討させていただく。

・規格の品質、少数意見への対応については、共通で行わなければならない。一方、知見の扱いは学会内で良く検討することが必要で、その上で、この場で検討する必要がある。扱っている領域が異なっていることや性質が異なっているからである。少数意見について、書面投票は、何回記入しても原則委員へ公開しているのではないかと。

→現在、システム上の制約で、1回目の意見しか入力できないようになっている。改善する必要

がある。

- 一般の方のご意見は常時受け付ける必要があるのではないかと。また、そのやりとりも原則公開になっているのではないかと。ご意見を常に受け付けていることを公開する必要がある。ぜひ3学協会でも検討し、手順を紙で残して公開することをお願いしたい。
- 課題は4つある。規格の品質、外部データの検証、少数意見の扱い、ユーザへの配慮。これらは共通した課題である。まずはそれぞれの学協会でも整理、検討し、共通する部分については3学協会でもまとめていくことにしたい。少数意見・反対意見の取扱いについて、機械学会では、内部での少数意見・反対意見のやりとりを他の委員にも分かるようにしようとしている。

#### b) 維持規格の技術評価の状況について

日本機械学会より資料 No.44-4 に基づき、維持規格の技術評価の状況について報告があった。  
(主な質疑・コメント)

- 改定とは異なるところを遡って変更するとのことであれば、理由をきちんと議論すべきで、簡単に取り下げないでいただきたい。また、変更の考え方と変更の理由とを合わせてこの場で紹介いただきたい。
- 機械学会内で考えをまとめて対応しようとしているので、この場でも紹介したい。
- やり方を変えるのは影響の範囲が大きいので、慎重に議論してまとめていきたい。

#### ii) 日本電気協会

日本電気協会より資料 No.44-5 に基づき、第3回日本電気協会 原子力規格委員会シンポジウムの開催について報告があった。6月7日(火)中央大学 駿河台記念館で開催される。  
(主なコメント)

- 3回目のシンポジウムとなるが、今年もこのような形で実施したい。なお、講演とパネルディスカッションは続けて実施した方がつながりが良いと考え、規格委員会報告を最後に行うこととした。

#### iii) 日本原子力学会

日本原子力学会より資料 No.44-6 に基づき、技術レポート「リスク評価の理解のために」の講習会について報告があった。4月19日(火)及び20日(水)、田中田村ビル5階にて開催される。なお、報告書はHPからダウンロード可能である。

### 3) 協議会幹事会からの報告

事務局より、資料 No.44-7 に基づき、原子力関連学協会規格類協議会 幹事会議事概要について報告があった。

## 6. その他

次回の協議会開催日時は以下のとおり。

平成28年6月13日(月) 10:00～

以上